



事務所前で参加者と



海外からの参加者も多く国際交流にもつながっている



NPO法人トチギ環境未来基地代表
塚本竜也さん

今回は、栃木県を中心としたフィールドで、若者と共に森づくり活動を行う「NPO法人トチギ環境未来基地」代表の塚本竜也さんにお話を伺いました。

未来を紡ぐ若者と環境の架け橋に

宇 都宮駅から車で揺られること40分——栃木県益子町にある「NPO法人トチギ環境未来基地（以下、基地）」の事務所を訪れた。「ここで長期ボランティアが寝泊まりをするんです」。そう教えてくれたのは、基地の代表 塚本竜也さんだ。

基地は、「森林保全と若者の育成を同時に叶える仕組みを日本につくりたい」という志の下、若者と一緒に栃木県内の荒れた里山や竹林の整備活動を行っている。間伐や下草刈り、竹林整備をはじめ、こども園や福祉施設に隣接した森、廃校になった小学校の裏山を整備し、子供たちが遊べる森づくり活動を行うほか、苗木から育てたクロマツを福島県いわき市に植林する海岸林再生プロジェクトなど、フィールドを広げている。参加者は、森林ボランティアに興味のある若者やNPO法人の就職志願者、企業研修として参加する社会人、アジアを中心とした外国人などさまざま。

「設立のきっかけは、大学卒業後に半年間参加したアメリカのConservation Corps(CC)」という若者が環境保全活動や地域貢献活動を行うプログラムで

——基地が一番力を入れていることは何ですか？

「基地では日帰り、週末、長期と参加しやすいようにプログラム期間を幅広く用意していますが、主軸となっているのは三カ月の長期です。長期は平日も活動できるので作業が進みますし、最初にできなかったことが徐々にできるようになるなど、多くのメリットがあります。その中には、チェンソーなどのリスクマネジメントを含めた技術指導とリーダーとしてのコーディネーション指導の二本柱で学べるリーダー研修※があり、基礎力とともに若者のリーダーシップを育むお手伝いをして

す。それまで、市民の力で森林保全をしていく方法について考えていた私にとって、これはまさに理想そのものでした。地域は自然環境を守るために必要な力を若者から得ることができ、若者は夢をつかむための大学入学の奨学金が得られる。そんなCCのようなプログラムを日本でもつくりたいと、2009年に日本初のCCプログラム実施団体として基地を立ち上げました」



整備後も維持し続けるために子供たちの遊び場や親子イベントなどに活用している



森を通じて福祉と地域の距離を近づけたいというテーマのもと、福祉施設裏の森に利用者や地域の方々が歩ける遊歩道を整備



整備後の森で子供たちとつくった遊具「希望のテント」



リーダー研修のワークショップ(左)と刈払機の技術指導(右)



苗木 forいわき



「市民の力で」という塚本さんの思いが福島県いわき市にもつながっている。東日本大震災で津波により、いわき市四倉～沼の内のクロマツの海岸林も被害を受けた。その再生を市民の力で応援していこうという目的で、2012年にスタートしたプロジェクトが「苗木 forいわき」だ。いわき市内と栃木県内の小学校や福祉施設で、約1年苗木を育ててから植林に適した3年目のクロマツを海岸に植えている。フクシマ環境未来基地を事務局として、トチギ環境未来基地も支援。昨年までで16,000本を植林しており、スタート時に植えたクロマツは2mほどに成長している。グングン成長するクロマツとともに、被災地の未来も豊かな花を咲かせていくことだろう。

「設立当初から若者の自立支援団体と連携して、なかなか社会に踏み出せない若者に森林保全活動を通して元気に、そして苦手を克服するための地域貢献の機会を設けています。今年度は、就労支援色を強めた『みどりの中間的就労訓練』を実施。活動に参加することで、訓練奨励金という一定の支援金が支払

―基地の目指す姿とは？

います。また、私たちがプログラムを考える上で大切にしていることは『里山×テーマ』。例えば、『里山×健康長寿社会』など、里山と今の地域社会で必要なことをセットにした活動に取り組んでいます」

「体力だけでなく、新しい発想や感性を持つ若者の力は大きい」と話す塚本さん。そんな若者の可能性を引き出しながら、これからは基地は未来の森づくりを支えていく。

※長期以外に、基地のボランティアに一回以上参加した向上心のある希望者も参加可能。

われます。自分ができることを見つけ、チームで力を合わせることの充実感を覚えることで、社会に踏み出すきっかけになれば嬉しいです。基地の目標は、若者の長期滞在型プログラムの持続可能な活動モデルをつくること。今後は、そうした活動が各県で広がり、地域の必要なことに若者が懸命に取り組む場面が増えていくことを願っています」